



### この号の内容

- 1 秋学期の授業に向けて
- 2 より質の高いオンライン授業づくりに向けた交流・相談会(定期開催)を始めます

#### 【本ニュース発行主体】

HOSEI2020 オンライン授業支援特設チーム

(教学統括副学長のもとに2020年度のオンライン授業を支援する目的で設置)

#### 【事務局】

総長室付教学企画室

## 秋学期の授業に向けて

教育支援本部担当常務理事・副学長 廣瀬 克哉

秋学期の開始も近づき、各先生方におかれては、春学期をふりかえりながら秋学期のご準備を進められていることと思います。本ニュースでは、秋学期の授業に関して先生方にお伝えてしてきたことの概要をあらためてお伝えし、ご確認をお願いするとともに、秋学期の授業づくりに向けたご考慮のお願いも伝えさせていただきます。

### 1 秋学期に向けた大学の方針

先生方にも既にお伝えしておりますが、大学として定めた秋学期授業の方針と予定は、以下の通りです。

詳細は <https://www.hosei.ac.jp/info/article-20200720182114/> に掲載

#### (1)7月27日通知 秋学期授業実施方針

- ①秋学期の授業並びに試験期間は、2020年度学年暦通りに実施すること
- ②秋学期の授業は、対面授業とオンライン授業を併用すること
- ③「新型コロナウイルス感染症に対する行動方針」により秋学期授業の実施レベルを大学が随時判断すること
- ④対面授業を行う科目についても、オンラインで受講できるようにする等、キャンパスに来られない学生が不利益を被ることがないよう配慮すること

#### (2)9月1日通知 秋学期授業実施予定

- ①現時点での感染者数の状況や、若者の感染者増加傾向に鑑み、秋学期授業は、行動方針に定めるレベル3により開始するが、今後、学内外の感染状況を見きわめながら、できるだけ早い時期に制限の少ないレベルに移行し、その後も、感染状況の変化に応じて随時レベルを変更しながら授業を実施すること
- ②感染症の今後の推移により、レベルを変更する場合には、緩和方向の場合2週間程度の周知期間をおきながら切り替えていくこと

秋学期の授業に向けては、田中総長もメッセージ「2020年度秋学期授業についてお伝えしたいこと」(9月1日)を発信していますので、そちらも是非あわせてご覧ください。

<https://www.hosei.ac.jp/info/article-20200720182114/>

そこで記されているように、大学は、学生と教職員の健康、そして社会全体の感染防止の責任を重視して行動すると同時に、いかなる条件のもとでも、(次ページへつづく)

豊かで実り多い学びの場をつくる努力と工夫を重ね、知的で創造的な活動を継続することを使命としています。今年の秋学期は、目下の状況で必ずしも容易ではない、その両立をめざします。できるだけ制限が少ない方向を追求しながら、折々に必要な状況判断を重ね、遠隔授業と対面授業を組み合わせ、学生たちとともに秋学期の教育活動を創造していくために、是非ともご協力のほど、お願いいたします。

## 2. 授業開始までをお願いしたいこと

- (1) シラバスの改訂：【授業の進め方と方法】、【授業計画】、【成績評価の方法と基準】等に変更がある場合は、8月末までに改訂をお願いしていますが、完了されているでしょうか。ご確認のうえ、システムへの更新ができないようでしたら各学部担当等にお申し出ください。
- (2) レベル 1,2,3 の授業実施予定の伝え方：現在、各学部から学生に伝えられているのは、レベル 3 における対面授業リストです。今後、授業開始までに、レベル 1, 2 における対面授業リストも学生に通知予定です。今学期は、科目ごとに実施形態が異なる体制となり、レベル設定は時期によって移り変わっていくことが想定されますので、●月●日は対面実施、などの具体的な授業運用に関する情報は、随時学習支援システム上の「お知らせ」で受講生に通知いただくようお願いいたします。
- (3) 授業支援アシスタントの活用：全ての学部授業に授業支援アシスタントを付けることができます。特に、対面授業を実施する可能性がある科目担当の先生方におかれましては、対面授業をオンライン配信するためのサポートとして、ご担当科目の主催学部や教育支援課に連絡頂き、ぜひ積極的にご活用ください。これは学生の経済的支援にも寄与する制度です。

## 3. 秋学期の授業づくりに関してご考慮をお願いしたいこと

### (1) 学生とのコミュニケーションに関するご配慮のお願い

\* 春学期のオンライン授業について学生からしばしば寄せられた困りごとは、本ニュースでも紹介してきましたが、「教員への連絡のとりづらさ」「質問のしづらさ」「理解しづらさ」「(一人でパソコンに向かい続けることからくる)意欲低下」などがあり、総じて、授業時あるいは教員とのコミュニケーションに関わることで、特に遠隔授業においては、春学期以上に、学生とのコミュニケーションにご配慮下さいますよう、お願いいたします。授業のうち数回を Zoom 等による質疑応答にあてる、専任教員の場合は「(オンラインによる)オフィスアワー」を実施するなど、工夫いただけたらと思います。

なお春学期終了直後に、教育開発・学習支援センターにて、全学生を対象とした春学期オンライン授業に関するアンケートを実施しており、8000 人超の学生が回答を寄せています。9 月中下旬以降、回答結果の速報が報告される予定です。その内容も参考にさせていただけたら幸いです。

\* 特に、資料配信型、フルオンデマンド型の授業の場合には、7 月 9 日学部長会議資料で以下のお願いをしておりますが、学生・教員間の双方向性確保について、特段のご配慮をお願いいたします。

「フルオンデマンド型授業(授業の実施方法が原則として教材の蓄積配信と課題提出、リアルタイムではない質疑応答の構成により、リアルタイムの双方向の要素を通常回には用いないもの)を実施する場合は、14 回の授業のうち一定回数の双方向型の授業を組み込むことを原則とする。例えば、多人数授業であればリアルタイム配信型授業を数回組み込む、少人数授業であれば対面授業やリアルタイム配信型授業を数回組みこむことを原則とする。」

(次ページへつづく)

(2) オンライン授業の質の向上に向けた経験交流、情報共有のお願い

各先生方におかれては、春学期の授業で様々な工夫を重ねられ、手応えも感じられたことと思います。秋学期は、そうしたご経験を、学科や学部などで、専任・兼任いずれも共有可能な方法で、ぜひ非公式・公式に情報提供、交流いただき、知見の共有を進めて下さいますよう、お願いいたします。また下記の新企画など、様々な機会を活用いただき、春学期にはできなかった新たなツール・方法を試みられるなど、授業の質のいっそうの向上に、積極的にご協力下さいますよう、お願いいたします。

## より質の高いオンライン授業づくりに向けた 交流・相談会（定期開催）を始めます

秋学期以降のオンライン授業の質の向上を目的として、学内でオンライン授業支援に携わる3つの主体（教育開発・学習支援センター、情報メディア教育研究センター、本オンライン授業支援特設チーム）が協力し、今後月2回程度を目処に、「より質の高いオンライン授業づくりに向けた交流・相談会」をオンライン形式で開催します。

オンライン教育に関する専門的知見を有する情報メディア教育研究センターの先生方からのミニレクチャー、および春学期のオンライン授業の good practice 事例の紹介を中心に、企画予定です。

専任・兼任教員どなたでもご参加可能です。お忙しい中でもご参加しやすいよう、毎回1時間程度のコンパクトな企画の予定です。会のなかでは、当日の内容に関わることで、それ以外のことも含めて、オンライン授業関連の質疑・相談・交流も設けたいと考えています。

春学期のオンライン授業の経験を通じて、一定の手応えを感じ今後は更に質を高めたい先生方、まだ十分に要領がつかめず周囲から参考情報を得たい先生方、ぜひご参加ください。

今後、本ニュースでも随時ご案内いたします。

### 第1回企画

日時：9月15日（火曜日）午後5時半～6時半

テーマ：情報メディア教育研究センターのオンライン授業への取り組み

講師：上田浩教授（情報メディア教育研究センター専任所員）

参加申込は、下記フォームより9月14日（月曜）午前0時（13日24時）まで受付。

開催日前日14日夕方までに、お申込時に使用されたメールアドレス（法政アカウントのみ可）にZoomのURLとID、パスワードをお送りします。

**お申込みフォーム URL**

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScT2t8KbPCLUB9neHR3hyQV5nzajrHlraLghoyBt1IbXclV4g/viewform>

### 第2回目以降の予定

毎回1時間程度の時間設定（+希望者による質疑・相談の場）で、オンライン教育に関する専門的知見を有する情報メディア教育研究センターの先生方からのミニレクチャー、あるいは、春学期のオンライン授業の good practice 事例の紹介を中心に、企画していく予定です。